

令和元年度決算に基づく南三陸町健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に規定する南三陸町における健全化判断比率および資金不足比率について、令和元年度決算に基づく算定結果は次のとおりです。

▶健全化判断比率

区分	令和元年度 南三陸町比率	県内平均 (仙台市を除く)	早期健全化基準 (黄信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	- % ($\Delta 29.63$)		14.88%	20.00%
連結実質赤字比率	- % ($\Delta 34.53$)		19.88%	30.00%
実質公債費比率	6.5%	6.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	- %	- %	350.0%	

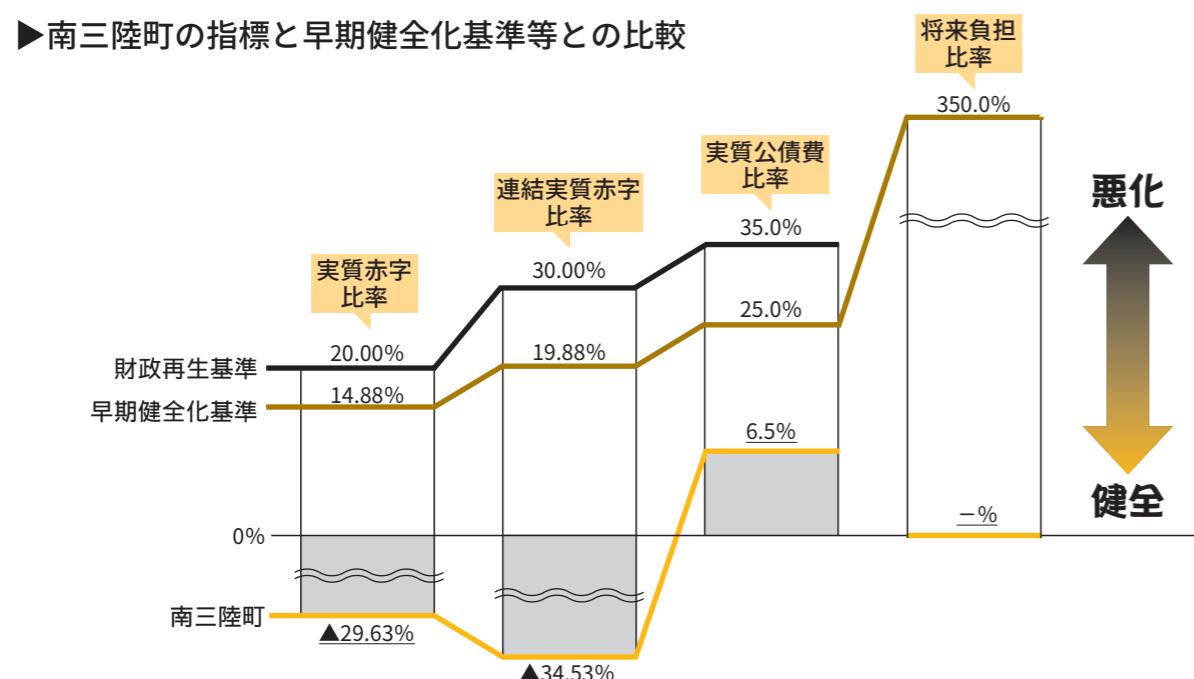
※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「- (なし)」で表示し、黒字の数値を参考値として「 Δ 」で表示しています。

▶資金不足比率

区分	市場事業	漁業集落排水事業	公共下水道事業	水道事業	病院事業	訪問看護ステーション事業
資金不足比率	- %	- %	- %	- %	- %	- %
経営健全化基準					20.0%	

※資金不足額がないため、資金不足比率は「- (なし)」と表示しています。

▶南三陸町の指標と早期健全化基準等との比較



■ 実質赤字比率 福祉、教育、まちづくり等を行う町の一般会計の赤字額を、標準的な収入と比較して指標化したものです。令和元年度も黒字決算となつたことから、算定されていません。

■ 連結実質赤字比率 すべての会計の赤字や黒字を合算して、町全体の資金不足の程度を把握するため、標準的な収入との比較により指標化される比率です。全会計黒字決算となつたことから、算定されていません。

■ 実質公債費比率 標準的な収入に対する一般会計の実質的な借入金返済額割合を指標化したものです。令和元年度は、前年度と比較して0.4%減少し、早期健全化基準未満となつています。これは、災害公営住宅の入居者が増え、住宅使用料が増加したことにより、借入金返済に充てられる金額が増額したためです。

■ 将来負担比率 借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示します。令和元年度は、一般会計の財政調整基金や寄付金による震災復興基金の積立金があることなどから、算定されていません。

※標準的な収入（標準財政規模）→51億8,673万円（令和元年度）

借入金（町債・企業債）の状況

町では、公共施設を整備するために借入金などで資金を調達しています。

一般会計では、小中学校の屋内運動場や空調設備の整備のために学校教育施設整備事業債（5億6,400万円）の借り入れを行いました。また、南三陸消防署の水槽付消防ポンプ自動車の更新に伴い消防防災施設整備事業債（7,460万円）も借り入れ、元年度の借入総額は14億7,901万円となりました。借入総額のうち、地方交付税の不足分を補うための臨時財政対策債の借入額は1億5,740万円で、約10.6%を占めています。

他会計においては、令和元年度の借り入れは行いませんでした。

町としての令和元年度末現在高の合計額は163億5,095万4千円となり、前年度末から約1億8,099万円増加しています。

区分	平成30年度末現在高	令和元年度借入額	令和元年度償還額	令和元年度末現在高
一般会計	127億4,228万8千円	14億7,901万円	9億9,367万8千円	132億2,762万円
市場事業特別会計	2,309万3千円	0円	1,715万5千円	593万8千円
漁業集落排水事業特別会計	8,191万6千円	0円	808万9千円	7,382万7千円
公共下水道事業特別会計	13億7,468万9千円	0円	9,779万7千円	12億7,689万2千円
水道事業会計	16億7,076万3千円	0円	1億5,003万3千円	15億2,073万円
病院事業会計	2億7,721万1千円	0円	3,126万4千円	2億4,594万7千円
合計	161億6,996万円	14億7,901万円	12億9,801万6千円	163億5,095万4千円

令和元年度 特別会計・企業会計決算

特別会計区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引残額
国民健康保険特別会計	20億427万3千円	18億8,592万2千円	1億1,835万1千円
後期高齢者医療特別会計	1億4,166万円	1億3,670万円	496万円
介護保険特別会計	16億2,310万8千円	15億2,942万円	9,368万8千円
市場事業特別会計	3,345万6千円	3,293万9千円	51万7千円
漁業集落排水事業特別会計	2,077万6千円	1,495万5千円	582万1千円
公共下水道事業特別会計	2億1,315万8千円	1億7,909万8千円	3,406万円

企業会計区分	予算額	決算額
水道事業会計	収入	6億7,285万1千円
	支出	6億4,815万4千円
	収入	31億4,135万6千円
	支出	33億5,249万2千円
病院事業会計	収入	21億3,200万円
	支出	21億3,200万円
	収入	3,776万7千円
	支出	3,776万7千円
訪問看護ステーション事業会計	収入	4,800万円
	支出	4,800万円